



秋田の続き

先月号に引き続き、秋田のボランティアのお話です。そんなこんなで、一日目もクタクタになりながら終わりました。宿に行ってみると、そこはスーパー銭湯の一角が宿泊施設になっているホテルでした。早速チェックインをして、部屋に行ってみると…。なんと、部屋ではなく、漫画喫茶によくあるような、壁ではなく、つい立てで区切られているだけの部屋でした。もちろん音も丸聞こえ。さらには布団が引いてあったのですが、その布団で部屋が全て埋まってしまう位の広さでした(涙)さすがに寝るだけだし…と覚悟はしていたのですが、周りの音は気になるし、スーツケースを広げるスペースもない…。これで6000円か…と泣きたくまりました。ちゃんと確認をしなかった自分がいけないので、全てを受け入れて、寝る事にしました。翌日は朝からボランティアセンターに行きました。今

回の派遣先へ向かうと、住人の方がいません。その代わり代理の方がいました。話を聞いてみると、お母さんが倒れて、病院に運ばれて、一緒に付き添っているのが作業はお任せしますとの事でした。電話で連絡を取ってやってほしい事を聞いて作業を開始したのですが、その家主の方がかなり厳しい方で「ちゃんと浸水した所だけじゃなくて、全体を拭いて」とか「全部拭き終わったら消毒もして」と要望が多かったんです。私たちもなるべく要望を聞いてあげたくて頑張っていたのですが、消毒は薬品を使うので、私たちでは対応することができません。その旨を電話で伝えると「消毒できないのに、今日は何しに来たの?」「じゃあ、消毒はいつやってくれるの?」「その人たちはいつ来るの?」と質問攻めになってしまいました。もちろん、ただ派遣されている私たちに、それを回答



することができないので、ボランティアセンターの方とも何度も連絡を取って、家主の方に返事をして、また質問されて、ボランティアセンターに聞いて…その繰り返しで、私は電話ばかりしている間に午前中が過ぎてしまいました。なんとか被災した方のお役に立ちたいと頑張っていたのですが、そのやり取りだけで心が疲れてしまい、お昼ご飯も食べれない位グッタリしてしまいました。なんとか午後からのチームに引き継ぐことができたので、その日も無事に終えることができました。なんだか、心も体もグツツリなボランティアでした。

みんなのひとり言

先日、お客様から高級梅干しをいただきました。いつも色々助けてくれるから、そのお礼です。と言っていただけでした。私たちの方がお世話になっているのに、本当にありがたい事です。その梅をみんなで分けました。たぶん一粒で200円とか300円位しそうなやつです。社長がそれを食べて「人生で一番うまい梅干し!」と絶賛していました。私も食べてみると…本当に美味しい!梅干しとは思えない位の美味しさでした。皆さんに愛されて仕事ができて、本当に幸せだな～と感じました。



喜んでいただけました!のコーナー

先日、びすてむの表看板を新しくしました。朝から作業をしてくれていたのですが、その作業中、看板屋さんが「看板の取付は午後からでもいいですか?」と言われました。「何かあったんですか?」と聞くと、看板を貼るのに必要な道具を落としてしまい、側溝の溝に落ちてしまったそうです。その道具がないと看板が貼れないので、一度、道具を取りに帰って、午後からもう一度来ます!と話して

くれました。石の側溝の隙間を見てみると、確かに道具が落ちていました。それなら…と考えて、長い棒の先にガムテープを巻き付けて、棒を溝に差し込んでみました。お!引っ付いた!それをそお一つ、そお一つ上に持ち上げてみると、見事に道具を救出することができました。それを隣で見ていた看板屋さんも「すごい!」と驚いていました。大切な道具も戻ってきたことで、作業も再

開できて、お屋には新しい看板が無事に出来上がりました。やっぱり新しい看板は気持ちがいいですね!帰り際に看板屋さんへ何度もお礼を言ってくれました。みんなが笑顔になれてよかったです。

今月の格言!

私はこの世に何かを成すために生まれてきた

(野口英世)

私は何のために生まれてきたんだろう…。それぞれ生まれてきた意味があると私も思っています。私が生まれてきた理由…。それは「びすてむ通信を作るため!」かも(笑)